

地区番号		1	2	3	4
地区名		旭ヶ丘	下沢	高田	三の倉地区
(1)基本情報	①住所(日ノ出町2～4丁目等)	旭ヶ丘1丁目85の1 外2筆	下沢町3丁目24の1 外5筆	高田町岩曾根22の1 外4筆	三の倉町猪場1の1 外3筆
	②面積(概算総面積)	74,405㎡	55,151㎡	330,939㎡	78,435㎡
	③現地地形(急峻・丘陵・平地等)	比較的なだらかな山林	比較的なだらかな山林	平地	比較的険しい山林
	④土地所有者(市・財産区・民地等)	市	市	市	市
(2)土砂災害 関連指定	①砂防指定地	開発は可能であるが、関係機関と協議の上、所要の措置を講じる必要がある。			
	②土石流危険渓流・区域	開発は可能であるが、関係機関と協議の上、所要の措置を講じる必要がある。			
	③急傾斜地崩壊危険箇所・区域	開発は可能であるが、関係機関と協議の上、所要の措置を講じる必要がある。			
(3)開発に要 する負担度合	①用地取得に係る経費	民有地や国・県有地の取得等			
	②土地造成の容易性	造成経費を最小限に留めることが望ましく、工事規模が過大にならないこと			
	③土砂災害関連設備構築の必要性	砂防施設等			
(4)インフラの 整備	①電気・ガス・水道の引込み容易性	設備に要する費用を最小限に留めることが望ましい			
	②進入道路の有無や既存道路改良の必要性	接道の状況や道路建設経費			
(5)建設工事 に係る障害等	①高圧線や高圧鉄塔、既存構築物の有無	移設や撤去に関する費用負担を要しないこと			
	②工食用道路の確保	機器搬入等が容易であること			
	③埋立地等地盤上の問題	採掘跡の埋め戻しや埋立の有無			
(6)周辺環境 の状況	①居住地区からの距離及び方角	大規模な住宅地から一定程度の距離が保てるか。恒風下とならないか。			
	②既存他施設とのバランス	福祉、医療、教育施設等との位置関係			
	③アクセス道路の状況	現地までの通過道路の状況(特にアプローチ道路沿道の土地利用状況)			
	④冬季における利便性	凍結の危険性、安全性、長い傾斜路など			
(7)景観上の 良否	①建設が景観に与える影響	山の稜線などを不自然に遮断しないことが望ましい			
	②居住地区からの距離見通し具合	極力見通せないことが望ましい			
(8)自然環境 に与える影響	①山林伐採の程度	環境保護の観点から最小限に留めることが望ましい。			
	②河川や水源に与える影響	環境保護の観点から最小限に留めることが望ましい。			
(9)希少種や 文化財に与 える影響	①シデコブシやギフチョウに与える影響	最小限に留めることが望ましい			
	②埋蔵文化財の有無	最小限に留めることが望ましい			
(10)将来的な 立地環境	①都市計画との整合性	道路計画等の将来計画の有無や用途方針との整合性			
	②断層との位置関係	華立断層、笠原断層			
	③次期建設に必要な余剰地の確保	20,000㎡～30,000㎡確保できると良い			
	④立地のバランス	市域における位置関係。中心部に近いことが望まれる			

地区番号		5	6	7	8	9
地区名		三の倉地区	小泉地区	滝呂地区	脇之島地区	脇之島地区
(1)基本情報	①住所(日ノ出町2～4丁目等)	三の倉町猪場37 外5筆	大沢町1丁目10番地 外1筆	滝呂町14丁目144の1 外6筆	脇之島町3丁目24の1 外7筆	脇之島町8丁目3の1
	②面積(概算総面積)	302,608㎡	223,167㎡	222,172㎡	276,487㎡	119,686㎡
	③現地地形(急峻・丘陵・平地等)	比較的険しい山林	急峻な山林	山林	急峻な山林	急峻な斜面
	④土地所有者(市・財産区・民地等)	市	市	市	市	市
(2)土砂災害 関連指定	①砂防指定地	開発は可能であるが、関係機関と協議の上、所要の措置を講じる必要がある。				
	②土石流危険渓流・区域	開発は可能であるが、関係機関と協議の上、所要の措置を講じる必要がある。				
	③急傾斜地崩壊危険箇所・区域	開発は可能であるが、関係機関と協議の上、所要の措置を講じる必要がある。				
(3)開発に要 する負担度合	①用地取得に係る経費	民有地や国・県有地の取得等				
	②土地造成の容易性	造成経費を最小限に留めることが望ましく、工事規模が過大にならないこと				
	③土砂災害関連設備構築の必要性	砂防施設等				
(4)インフラの 整備	①電気・ガス・水道の引込み容易性	設備に要する費用を最小限に留めることが望ましい				
	②進入道路の有無や既存道路改良の必要性	接道の状況や道路建設経費				
(5)建設工事 に係る障害等	①高圧線や高圧鉄塔、既存構築物の有無	移設や撤去に関する費用負担を要しないこと				
	②工用道路の確保	機器搬入等が容易であること				
	③埋立地等地盤上の問題	採掘跡の埋め戻しや埋立の有無				
(6)周辺環境 の状況	①居住地区からの距離及び方角	大規模な住宅地から一定程度の距離が保てるか。恒風下とならないか。				
	②既存他施設とのバランス	福祉、医療、教育施設等との位置関係				
	③アクセス道路の状況	現地までの通過道路の状況(特にアプローチ道路沿道の土地利用状況)				
	④冬季における利便性	凍結の危険性、安全性、長い傾斜路など				
(7)景観上の 良否	①建設が景観に与える影響	山の稜線などを不自然に遮断しないことが望ましい				
	②居住地区からの距離見通し具合	極力見通せないことが望ましい				
(8)自然環境 に与える影響	①山林伐採の程度	環境保護の観点から最小限に留めることが望ましい。				
	②河川や水源に与える影響	環境保護の観点から最小限に留めることが望ましい。				
(9)希少種や 文化財に与 える影響	①シデコブシやギフチョウに与える影響	最小限に留めることが望ましい				
	②埋蔵文化財の有無	最小限に留めることが望ましい				
(10)将来的な 立地環境	①都市計画との整合性	道路計画等の将来計画の有無や用途方針との整合性				
	②断層との位置関係	華立断層、笠原断層				
	③次期建設に必要な余剰地の確保	20,000㎡～30,000㎡確保できると良い				
	④立地のバランス	市域における位置関係。中心部に近いことが望まれる				

地区番号		10	11	12	13	14
地区名		笠原下原	笠原森下	笠原梅平	笠原梅平	笠原梅平
(1)基本情報	①住所(日ノ出町2～4丁目等)	笠原町下原1264の1	笠原町森下1647の1	笠原町梅平3986の1	笠原町梅平4024-1 外1筆	笠原町梅平4106の58 外1筆
	②面積(概算総面積)	32,001㎡	21,772㎡	18,214㎡	50,954㎡	28,709㎡
	③現地地形(急峻・丘陵・平地等)	急峻な山林	平地	平地	急傾斜地	比較的なだらかな山林
	④土地所有者(市・財産区・民地等)	市	市	市	市	市
(2)土砂災害 関連指定	①砂防指定地	開発は可能であるが、関係機関と協議の上、所要の措置を講じる必要がある。				
	②土石流危険渓流・区域	開発は可能であるが、関係機関と協議の上、所要の措置を講じる必要がある。				
	③急傾斜地崩壊危険箇所・区域	開発は可能であるが、関係機関と協議の上、所要の措置を講じる必要がある。				
(3)開発に要 する負担度合	①用地取得に係る経費	民有地や国・県有地の取得等				
	②土地造成の容易性	造成経費を最小限に留めることが望ましく、工事規模が過大にならないこと				
	③土砂災害関連設備構築の必要性	砂防施設等				
(4)インフラの 整備	①電気・ガス・水道の引込み容易性	設備に要する費用を最小限に留めることが望ましい				
	②進入道路の有無や既存道路改良の必要性	接道の状況や道路建設経費				
(5)建設工事 に係る障害等	①高圧線や高圧鉄塔、既存構築物の有無	移設や撤去に関する費用負担を要しないこと				
	②工事用道路の確保	機器搬入等が容易であること				
	③埋立地等地盤上の問題	採掘跡の埋め戻しや埋立の有無				
(6)周辺環境 の状況	①居住地区からの距離及び方角	大規模な住宅地から一定程度の距離が保てるか。恒風下とならないか。				
	②既存他施設とのバランス	福祉、医療、教育施設等との位置関係				
	③アクセス道路の状況	現地までの通過道路の状況(特にアプローチ道路沿道の土地利用状況)				
	④冬季における利便性	凍結の危険性、安全性、長い傾斜路など				
(7)景観上の 良否	①建設が景観に与える影響	山の稜線などを不自然に遮断しないことが望ましい				
	②居住地区からの距離見通し具合	極力見通せないことが望ましい				
(8)自然環境 に与える影響	①山林伐採の程度	環境保護の観点から最小限に留めることが望ましい。				
	②河川や水源に与える影響	環境保護の観点から最小限に留めることが望ましい。				
(9)希少種や 文化財に与 える影響	①シデコブシやギフチョウに与える影響	最小限に留めることが望ましい				
	②埋蔵文化財の有無	最小限に留めることが望ましい				
(10)将来的な 立地環境	①都市計画との整合性	道路計画等の将来計画の有無や用途方針との整合性				
	②断層との位置関係	華立断層、笠原断層				
	③次期建設に必要な余剰地の確保	20,000㎡～30,000㎡確保できると良い				
	④立地のバランス	市域における位置関係。中心部に近いことが望まれる				

地区番号		15	16	17	18
(1)基本情報	地区名	笠原天王下	精華	精華	旭ヶ丘
	①住所(日ノ出町2～4丁目等)	笠原町天王下4114の2 外3筆	長瀬町29の4	光ヶ丘5丁目3番地 外14筆	長瀬町29の6
	②面積(概算総面積)	148,328㎡	237512㎡ 内市有地36,671㎡	23,422㎡	13,909㎡
	③現地地形(急峻・丘陵・平地等)	比較的急峻な山林	山林	山林	山林
	④土地所有者(市・財産区・民地等)	市	市・民地	民地	民地
(2)土砂災害 関連指定	①砂防指定地	開発は可能であるが、関係機関と協議の上、所要の措置を講じる必要がある。			
	②土石流危険渓流・区域	開発は可能であるが、関係機関と協議の上、所要の措置を講じる必要がある。			
	③急傾斜地崩壊危険箇所・区域	開発は可能であるが、関係機関と協議の上、所要の措置を講じる必要がある。			
(3)開発に要 する負担度合	①用地取得に係る経費	民有地や国・県有地の取得等			
	②土地造成の容易性	造成経費を最小限に留めることが望ましく、工事規模が過大にならないこと			
	③土砂災害関連設備構築の必要性	砂防施設等			
(4)インフラの 整備	①電気・ガス・水道の引込み容易性	設備に要する費用を最小限に留めることが望ましい			
	②進入道路の有無や既存道路改良の必要性	接道の状況や道路建設経費			
(5)建設工事 に係る障害等	①高圧線や高圧鉄塔、既存構築物の有無	移設や撤去に関する費用負担を要しないこと			
	②工事用道路の確保	機器搬入等が容易であること			
	③埋立地等地盤上の問題	採掘跡の埋め戻しや埋立の有無			
(6)周辺環境 の状況	①居住地区からの距離及び方角	大規模な住宅地から一定程度の距離が保てるか。恒風下とならないか。			
	②既存他施設とのバランス	福祉、医療、教育施設等との位置関係			
	③アクセス道路の状況	現地までの通過道路の状況(特にアプローチ道路沿道の土地利用状況)			
	④冬季における利便性	凍結の危険性、安全性、長い傾斜路など			
(7)景観上の 良否	①建設が景観に与える影響	山の稜線などを不自然に遮断しないことが望ましい			
	②居住地区からの距離見通し具合	極力見通せないことが望ましい			
(8)自然環境 に与える影響	①山林伐採の程度	環境保護の観点から最小限に留めることが望ましい。			
	②河川や水源に与える影響	環境保護の観点から最小限に留めることが望ましい。			
(9)希少種や 文化財に与 える影響	①シデコブシやギフチョウに与える影響	最小限に留めることが望ましい			
	②埋蔵文化財の有無	最小限に留めることが望ましい			
(10)将来的な 立地環境	①都市計画との整合性	道路計画等の将来計画の有無や用途方針との整合性			
	②断層との位置関係	華立断層、笠原断層			
	③次期建設に必要な余剰地の確保	20,000㎡～30,000㎡確保できると良い			
	④立地のバランス	市域における位置関係。中心部に近いことが望まれる			